

堺

ムーSTYLE

2021.6
Vol.9

発行／堺市 環境局 環境事業部 資源循環推進課

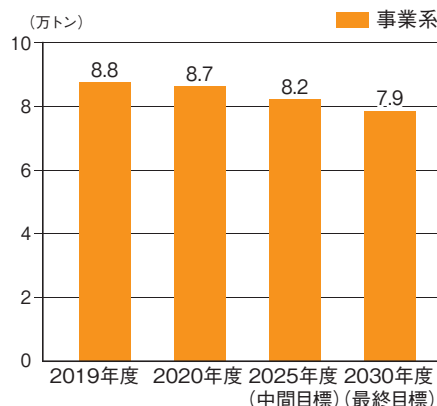
堺市環境マスコットキャラクター
「ムーちゃん」

堺市一般廃棄物処理 基本計画を改定！

「改定計画概要版」
QRコード

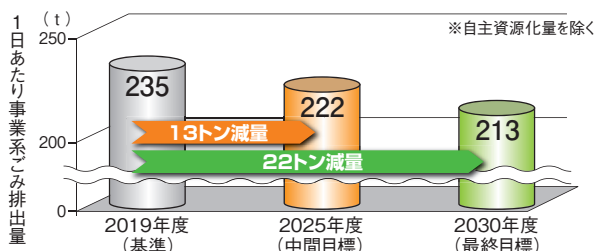
堺市では、令和3年3月に堺市一般廃棄物処理基本計画を改定しました。その中で、年間清掃工場搬入量を2030年度までに、基準年度（2019年度）から3.3万トン削減することを目標に掲げています。本計画を推進し、目標を達成するためには、ごみを排出する主体であり、減量化・リサイクルの実践者である市民・事業者、ごみの減量等に取組む市民活動団体、ごみとなるものを生産・販売する事業者、ごみの処理やリサイクルを行う事業者、ごみ処理事業を運営する行政など、ごみに関わる多様な主体がそれぞれの立場に応じた適正な役割分担のもとに、自主的に連携・協働することが必要です。

ごみ排出量及び目標値



1日あたり事業系ごみ排出量*

2019年度 235トン ⇒ 2025年度 222トン (13トン減量)
2030年度 213トン (22トン減量)



事業者の皆様におかれましては、生産・流通・販売等の様々な事業活動の中でごみと深く関わっており、排出者責任および拡大生産者責任に基づき、資源の効率的利用や生産工程・流過程の改善などによってごみの発生・排出抑制、再利用、リサイクルおよび適正処理に主体的に取り組まれるようご理解とご協力をお願いします。

6月は環境月間です！

関係府省庁や地方公共団体などにより全国で様々な行事・事業が行われます。
ぜひ行事・事業を通じて、環境のことを考えてみてください。

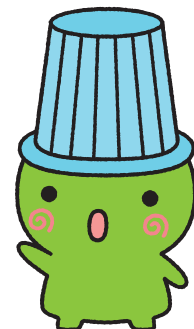
6月5日は環境の日です。

これは、1972年6月5日からストックホルムで開催された「国連人間環境会議」を記念して定められたものです。

日本においてもこの日を環境の日と「環境基本法」で定め、環境の保全についての関心と理解を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高める日としています。

事業者の皆様も、ぜひこの機会にごみ問題も含めた環境改善のため、ビジネススタイルを見直してみたいかがでしょうか。

ごみの減量を
進めましょう！



なぜごみを減らさないといけないの？

ごみを大量に排出し続けてきたことにより、下記のような課題が深刻化しています。これらの課題を解決していくためには、「循環型社会」の形成に向けて、ごみの減量化・リサイクルを一層進めていかなければなりません。



環境への負荷

ごみ処理に伴って排出される二酸化炭素などの温室効果ガスは、地球温暖化を加速させ、異常気象や環境問題につながります。

また、ごみは、もともと天然の資源であり、大量消費、大量廃棄の社会経済システムでは、資源はいずれ枯渇してしまいます。

ごみを減らすことは、地球の自然環境や資源を将来に残し、循環型社会を形成していくために大切なことです！

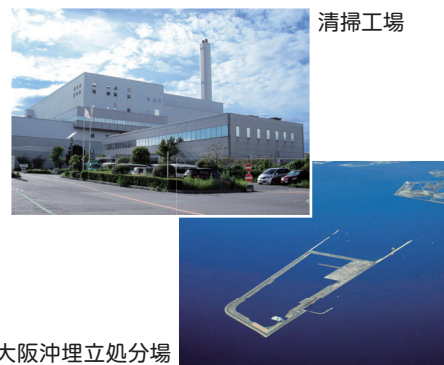


ごみ処理施設の圧迫

事業系一般廃棄物の一部は、市の清掃工場で処理しています。市の清掃工場は、依然として高い稼働率で運転しており、施設や設備への負担が大きい状況が続いています。

また、清掃工場でごみを処理した際に排出される灰は、大阪沖埋立処分場に埋め立てていますが、このままのペースでごみを排出し続けると、2032年度末に埋立満了（予定）となります。

今後も安定したごみ処理体制を維持するためには、ごみを減らすことが重要で、皆様のご協力が必要不可欠なのです！



事業者の皆様へ

今からできるごみの減量化・リサイクルの取組

●適正排出の推進

事業活動に伴って排出した「事業系ごみ」は排出量に関わらず、「家庭系ごみ」として排出できません！

- 事業系ごみ
- 事業系一般廃棄物（生ごみ、木くず、紙くず、繊維くず）
 - ・清掃工場での処理、もしくは、民間再資源事業者でリサイクル
 - 産業廃棄物
 - ・産業廃棄物処理業者で適正に処理

●紙類の減量化・リサイクルのため

- ・ペーパーレス化を進めよう！
- ・OA用紙や紙箱・紙袋等雑がみをリサイクルしよう！
- ・古紙回収協力事業所制度を活用しよう



●食品廃棄物削減のため

- ・食品廃棄物の発生を抑制しよう！
 - 【食品小売業】
 - ・見切り・値引き販売の実施
 - ・少量パックの販売やばら売りの導入
 - ・生ごみのリサイクル促進
 - 【飲食業】
 - ・小盛りメニュー等の導入
 - ・持ち帰り希望者への対応
 - ・生ごみの水きりの徹底

